

本プレスリリースは、株式会社電通総研、株式会社電通、株式会社電通デジタル、株式会社セプテーニ・ホールディングス、イグニッション・ポイント株式会社の連名配信のため、重複してお手元に届く場合がございますことを予めご理解ください。

Press Release



2025 年 7 月 7 日

株式会社電通総研

株式会社電通

株式会社電通デジタル

株式会社セプテーニ・ホールディングス

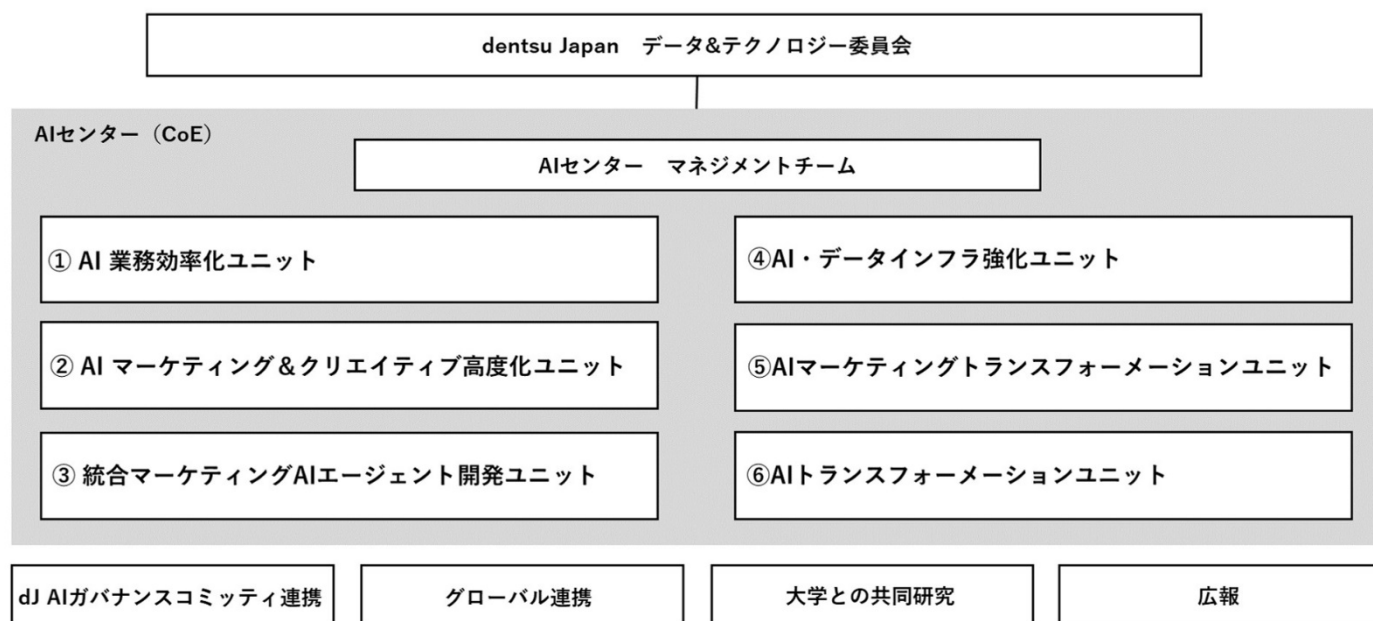
イグニッション・ポイント株式会社

国内電通グループ、「dentsu Japan AI センター」を発足

－ 約 1,000 名の専門人財で AI 開発・活用を推進し、AI ネイティブカンパニーへと進化 －

国内電通グループの 5 社(株式会社電通総研、株式会社電通、株式会社電通デジタル、株式会社セプテーニ・ホールディングス、イグニッション・ポイント株式会社)は、AI 活用・開発の中核を担うグループ横断組織「dentsu Japan AI センター(以下「当センター」)」を 2025 年 7 月 7 日(月)に発足しました。AI に関する専門的リソースを結集した体制を構築し、国内電通グループや顧客の企業変革の加速に貢献していきます。

dentsu japan AI center



<「dentsu Japan AI センター」体制図>

近年、AI は業務効率化にとどまらず、企業の経営や組織そのものを変革する存在へと進化しており、多くの企業が AI を企業活動の中核に据えて活用する「AI ネイティブカンパニー」への移行を加速させています。しかしながら、国内では AI の導入が部門単位で進められる傾向があり、全社視点での戦略や体制の整備が課題となっているケースも少なくありません。こうした状況を踏まえ、国内電通グループでは AI を「企業変革の中核」として位置づけ、経営層・事業部門・管理部門・技術/開発部門が一体となって推進する「センター・オブ・エクセレンス(CoE)」として、約 1,000 名の専門人財を擁する当センターを発足しました。

当センターは、AI に関する技術・データ・人財・知見を横断的に結集し、国内電通グループ全体の AI ネイティブ化をけん引する役割を担います。また、国内電通グループ内での AI 開発・導入・活用にとどまらず、顧客の AI 開発・導入・活用の支援も重要なミッションとして位置づけています。業務効率化やマーケティングの高度化だけでなく、AI エージェントの開発、AI データインフラの強化、顧客のバリューチェーン全領域での AI 変革までを視野に入れた包括的な戦略を推進するため、次の 6 つの専門ユニットを編成して、横断的かつ実践的な活動を展開していきます。

1. AI 業務効率化ユニット

dentsu Japan 社内業務における AI 活用を通じて、生産性向上と業務効率化を推進します。そのために必要な AI ツールの開発・導入、AI スキル向上支援などを通じた利活用の推進により、日常業務への AI 浸透を図ります。

2. AI マーケティング & クリエイティブ高度化ユニット

マーケティング & クリエイティブの全プロセスを、人と AI の掛け算で高度化します。顧客の成長を実現する AI ソリューション/ツールの開発と実践を加速するとともに、AI 時代の新たなマーケティングの在り方を研究します。

3. 統合マーケティング AI エージェント開発ユニット

複数の AI アプリケーション群をつなぎ、マーケティングの全プロセスを統合的に支援する「統合マーケティング AI エージェント」の開発に加え、AI エージェントの先進的な技術研究も行っていきます。AI エージェントは、国内電通グループ内での活用にとどまらず、顧客向けにも提供していく予定です。

4. AI データインフラ強化ユニット

独自の大規模生活者データに基づく AI モデル「People Model(一億人規模の AI ペルソナ)」など、dentsu Japan ならではの AI データインフラを強化・拡充し、AI 活用における最新の基盤を整備していきます。

5. AI マーケティングトランスフォーメーション(AIMX)ユニット

顧客が推進するマーケティング業務の AI エージェント開発・導入を伴走・支援します。業務コンサルティングから戦略策定、開発導入までを一貫して支援。マーケティングの高度化・効率化・高速化を同時に実現します。

6. AI トランスフォーメーションユニット

経営、事業開発、人事、営業など、顧客のバリューチェーンのあらゆる領域における AI エージェントの開発・導入を支援します。また、AI 人財の育成や、AI ネイティブカンパニーへの組織・企業文化の変革も支援します。

当センターは国内電通グループ内の「dentsu Japan AI ガバナンスコミッティ」と連携し、dentsu Japan 従業員向けに適切な AI サービスの利活用を促す環境整備や支援を行うほか、大学など研究機関との共同研究の結果を生かす技術開発など、関連各所と密接に連携しながら AI の開発・導入・支援を推進していきます。

国内電通グループは、当センターの発足を機に、AI を活用した企業変革をさらに加速し、顧客と社会に新たな価値を提供する「AI ネイティブカンパニー」への進化を目指します。



国内電通グループは、“人間の知(=Intelligence)”と“AIの知”の掛け合わせによって、顧客や社会の成長に貢献していく独自のAI戦略「AI For Growth」を推進しています。

AI For Growth については、以下ウェブページをご確認ください。

https://www.dentsu.co.jp/labo/ai_for_growth/index.html

<ご参考資料>

2025 年 7 月 3 日

[国内電通グループ 4 社、AI で顧客体験を進化させる次世代ソリューション「AI コンタクトセンター」を開発・提供](#)

2025 年 5 月 19 日

[国内電通グループ、AI ネイティブ化を加速する独自の AI 戦略「AI For Growth 2.0」を発表](#)

2025 年 4 月 24 日

[電通総研、複数の AI エージェントアプリケーションを利用できるプラットフォーム「Know Narrator AgentSourcing\(ノウナレーター エージェントソーシング\)」を提供開始](#)

■電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という 3 つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

* 電通国際情報サービス(ISID)は、電通総研へ社名を変更しました。

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 技術統括本部 クロスイノベーション本部 阿野

E-Mail: g-ai@group.dentsusoken.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 山田

TEL: 03-6713-6100

E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com